

震災の中国・雲南省小学校再建

岡山後楽L C

AMD Aの計画支援

今年二月の大地震で校舎が倒壊した中国・雲南省の子供たちを支援しよう」と、岡山市の岡山後楽ライオンクラブ(杉本充稔会長、約百人)は、アジア医師連絡協議会(AMD A、本部岡山市椿津)と協力し、現地で小学校の校舎を再建する計画を進めている。募金やバザーで市民らに資金協力を呼び掛けており、十二月二十九日には同市内で開かれる京橋朝市でバザーを行う。

小学校の再建支援は、県内の小、中、高校生らが、自主的に文房具や義援金を集めて中国に送っている運動を聞いた同クラブ会員が

発案。八月には現地に支援への参画を決めた。

計画では、雲南省の麗江物資を届けたAMD A高校生会のメンバーを招いて、県内に来年四月、鉄筋コンクリートの校舎一棟と、情報報告を受け、九月の理事会で、AMD Aが展開中の「小学校再建プロジェクト」に暫工し、平成十年の完成



校舎が倒壊し、仮設校舎で授業に取り組む中国・雲南省麗江県の児童たち

を目指す。事業費は約三百万円を見込み、同クラブ事業費から百万円を充てるほか、残りの二百万円をバザーや募金で賄う予定。

中国・雲南省では二月三日にマグニチュード7.0の大地震が発生。約九百七十力所の学校施設のうち五百二十校が被害を受け、中には倒壊してバラックなど仮設校舎での授業を余儀なくされている所もある。現地では現在、AMD Aが募金などで鉄筋コンクリートの校舎一棟を建設中。

同クラブは街頭募金や企業からの義援金を募るほか、十二月に開かれる京橋朝市でバザーを行い協力を

訴える。同クラブの清水直樹さん(左)は「子供たちの間に芽生えたボランティアを応援し

たい。県内のライオンズクラブにも呼び掛け、より大きな国際貢献の輪を広げていければ」と話している。

問い合わせは清水さん方 086-1231-003

1.